

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公表番号】特表2010-538123(P2010-538123A)

【公表日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-523086(P2010-523086)

【国際特許分類】

C 08 L 101/02 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2006.01)

C 08 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/02

C 08 K 3/00

C 08 K 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月26日(2011.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バックボーンを有する主ポリマーと、

前記バックボーンに結合された不飽和側鎖と、を含む酸素消去ポリマーであって、前記側鎖は(i)脂肪酸ベースの供給原料を使用して形成される少なくとも1つの脂肪族炭素-炭素二重結合又は(ii)2つ以上の炭素-炭素二重結合を含む、酸素消去ポリマーと、

触媒と、を含む、組成物。

【請求項2】

前記バックボーンが少なくとも1つのヘテロ原子を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記主ポリマーのバックボーンが、1つ以上のポリエステル、コポリエステル、ポリカーボネート、ポリ(エチレンオキシド)、ポリ(-カブロラクタム)、熱可塑性フルオロポリマー、ポリウレタン、ポリエポキシド、ポリラクトン、ポリメチルメタクリレート、ポリスチレン、ポリアリレート、ポリフェニレンオキシド、スチレン/無水マレイン酸、ポリオキシメチレン、ポリアミド、ポリイミド、ポリスルホン、ポリアミノ酸、ポリジメチルシロキサン、ポリオレフィン、ビニル、ポリケトン、それらの混合物、又はそれらの誘導体を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記酸素消去ポリマーが、概略的な式：

【化1】

- [バックボーン部分] -

└ X-Y-Z

{式中、

- [ バックボーン部分 ] - は、バックボーンの部分を表し、  
X は、バックボーンに接続された二価の有機連結基を表し、

Y は、二価の酸素消去基を表し、ここで、当該 Y 基が、式

- W - C ( R <sub>1</sub> ) = C ( R <sub>2</sub> ) - C ( R <sub>3</sub> R <sub>4</sub> ) - C ( R <sub>5</sub> ) = C ( R <sub>6</sub> ) - 、又は  
- W - C ( R <sub>1</sub> ) = C ( R <sub>2</sub> ) - C ( R <sub>5</sub> ) = C ( R <sub>6</sub> ) - 、又は上記の式の混合物

( 式中、W は、存在する場合、二価の有機基であり、R 基は各々、水素原子、置換された若しくは非置換のアルキル基、置換された若しくは非置換のシクロアルキル基、置換された若しくは非置換のアリール基、又は置換された若しくは非置換のアルケニル基のうちの 1 つを示す ) の 1 つを含む

Z は、水素又は一価の有機基を表す } で示される、少なくとも 1 つの構造単位を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 5】**

X が、エステル、アミド、ウレタン、エーテル、尿素、又は炭酸エステル連結基を含む、請求項 4 に記載の組成物。

**【請求項 6】**

前記側鎖が、約 67 ~ 1,000 の分子量を有し、また前記側鎖が酸素消去ポリマーの 1 ~ 60 重量 % を構成する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 7】**

前記触媒が、遷移金属、遷移金属の複合体、光開始剤又はそれらの混合物を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 8】**

前記側鎖が、不飽和脂肪酸ベースの側鎖を含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 9】**

前記側鎖が、2 つ以上の脂肪族炭素 - 炭素二重結合を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 10】**

前記組成物が、ボトル、カップ、ボウル、容器、フィルム、ラップ、裏張り、コーティング、トレイ、紙パック又は袋に形成される、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物を含む物品。